

地域づくり技術研究所 活動報告 平成29年度vol.1

名 称	「平成29年度 狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練」 出展
実施目的	木曽川流域における洪水被害・名古屋港における高潮被害を想定し、水防関係者の水防技能の習熟と防災関係機関が相互に連携した複合型災害に対する各種訓練による、防災体制の確立を図ることを目的としています。当研究所は、この水防演習に出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成29年5月14日（日） 9:00～12:00
会 場	静岡県三島市長伏地先（狩野川右岸9km付近）
主 催	国土交通省中部地方整備局、静岡県、三島市、沼津市、伊豆市、伊豆の国市、裾野市、函南町、清水町、長泉町
協 力	気象庁静岡地方气象台、国土地理院中部地方測量部、陸上自衛隊第1師団 他
後 援	全国水防管理団体連合会、(公社)日本河川協会、(一社)中部地域づくり協会 他
参 加 者	訓練参加者 約 1,600 名 (協会展示ブース見学者 約 70 名)
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作：一般社団法人東北地域づくり協会) ② パネル展示 ・地震：安政東海地震、三河地震など ・風水害：狩野川台風、七夕豪雨・水害など ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集 2016」
実施効果	狩野川台風級規模の台風接近による記録的な豪雨・高潮で内水氾濫や堤防決壊による浸水被害を想定のもと、狩野川で水防演習が開催され、ドローンによる被災状況調査や仮設橋の設置、堤防決壊の荒締め切りが実施されました。当協会展示ブースでは、液状化実験や狩野川台風のパネル展示等を実施し、体験型の液状化実験には幅広い年齢層の方にも関心が寄せられました。

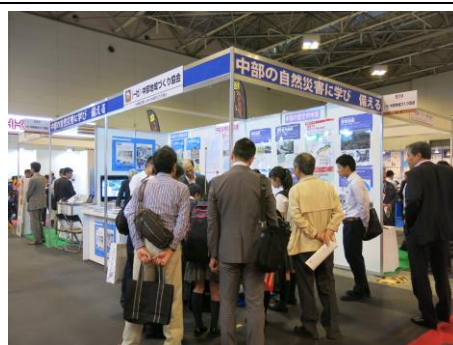
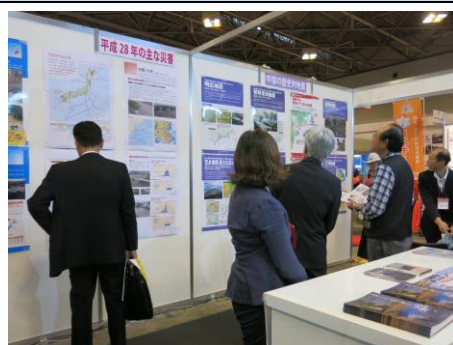
実 施 状 況



地域づくり技術研究所 活動報告 平成29年度vol.2

名 称	「第5回 中部ライフガードTEC2017 防災・減災・危機管理展」 出展
実施目的	この催しは、最新の防災・減災及び危機管理に係る製品・技術・サービス等を展示紹介し、防災意識のさらなる向上と、防災・減災関連産業の振興を図ることを目的として、開催されました。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実施日	平成29年5月18日(木)・19日(金) 10:00~17:00
会 場	ポートメッセなごや2号館(名古屋市国際展示場)
主 催	名古屋国際見本市委員会
共 催	南海トラフ地震対策中部圏戦略会議(事務局:国土交通省中部地方整備局)
後 援	内閣府(防災担当)、農林水産省、経済産業省、国土交通省、消防庁
来 場 者	約20,000名(協会展示ブース見学者 約500名)
実施内容	<p>防災啓発活動</p> <p>① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作:一般社団法人東北地域づくり協会)</p> <p>② パネル展示 ・地震:明応地震、宝永地震など ・風水害:9.12豪雨災害、東海豪雨など ・平成28年の主な災害:熊本地震、北海道豪雨災害など</p> <p>③ 液状化現象試験装置の実演</p> <p>④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集2016」</p>
実施効果	第1回から連続5回目の出展となり、パネル展示や映像上映、体験型の防災啓発活動として液状化実験を実施しました。今回は、平成28年に発生した主な災害として、北海道豪雨災害、熊本地震などの被害状況などをパネルにて解説しました。液状化実験をご覧になられた方からは「自宅地域の液状化を心配している」などの声も聞かれ、関心が集まりました。また、アニメーション映像「未来に向けて」の問合せや啓発資料についても毎年収集される方もある程、好評をいただきました。

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 活動報告 平成29年度vol.3

名 称	「平成 29 年度愛西市総合防災訓練」 協力
実施目的	この訓練は、熊本地震、東日本大震災や伊勢湾台風、目比川の決壊等の過去の災害の教訓をもとに地域住民、自主防災会やボランティア団体等の主体的な取組による訓練を実施し、防災知識の習得と防災行動力の向上により、地域防災力の強化を図ることを目的としています。当研究所は、この訓練に参加協力し、地域防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成29年8月27日（日） 7:00～9:00
会 場	愛西市八開中学校
主 催	愛西市
参加機関	国土交通省木曾川下流河川事務所、愛知県津島警察署 他
参 加 者	訓練参加者（愛西市民 約100名、市役所スタッフ、ボランティア）
実施内容	防災啓発活動 ① パネル展示・地震：濃尾地震、三河地震など ・風水害：S51年9.12豪雨災害（比目川堤防決壊）パネルなど ② 液状化現象試験装置の実演・高潮実験など
実施効果	訓練は、地域住民、自主防災会やボランティア団体等の主体的な取組による自助・共助を基本としており、避難行動、資機材取扱、炊き出し等が実施されました。訓練参加者は液状化実験などの体験型の実験に強い興味を示されました。

実 施 状 況



地域づくり技術研究所 活動報告 平成29年度vol.4

名 称	「羽島市小学生サイエンスキッズセミナー」 協力
実施目的	当研究所は、「地震」や「台風」等の自然科学（気象等）に興味をもつ児童に発展的な学習機会を提供することにより、理科を学ぶ意欲を一層喚起し、科学技術に対する正しい理解と知識を深めるとともに、自然災害から身を守る「命の大切さ」を考え行動する力を育て、次代を担う人材の育成を図ることを目的とし、このセミナーに講師を派遣し、協力しました。
実 施 日	平成29年8月29日（火）・30日（水） 10:00～11:30
会 場	羽島市民会館 第1会議室
主 催	羽島市教育委員会 学校教育課・生涯学習課
参 加 者	小学校4～6年生 各回16名
実施内容	<p><8/29 実験でわかる「地震災害」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを使った液状化実験 ・地震はどのように起るの？ プレートの移動、断層による地震実験 ・津波の実験 ・建物の強さ実験 ・地盤の液状化実験 ・備え 他 <p><8/30 実験でわかる「気象と水災害」></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを使った実験「水中エレベータ」 ・雲の発生と台風 雲をつくる実験 ・台風による海面上昇実験 ・空気や水の力がわかる実験 ・災害に対する備えと行動 他
実施効果	<p>小学生にもわかりやすい防災実験として、楽しみながら地震・台風等に対する知識や理解を深め、災害から身を守る一助となるよう企画しました。</p> <p>参加した小学生は、どの実験にも興味・関心を持ち積極的に取り組むとともに、災害時にどう行動したらよいかを話し合っていました。</p>
参加した小学生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・「地震」や「台風」がどのように起るかわかった。自然災害の怖さがわかった。 ・学んだことを家庭や学校で生かし、災害に備えたいと思う。 ・色々な実験ができて、とても楽しかった。また参加したい。 他

実 施 状 況 <8/29 実験でわかる「地震災害」>



実 施 状 況 <8/30 実験でわかる「気象と水災害」>



地域づくり技術研究所 活動報告 平成29年度vol.5

名 称	「建設技術フェア2017in 中部」 出展
実施目的	この催しは、産学官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進を図るとともに、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を紹介することを主な目的としています。当研究所は、これに出展し、防災力の向上に向けた啓発活動を実施しました。
実 施 日	平成29年10月18日(水) 10:00~17:00 19日(木) 10:00~16:00
会 場	吹上ホール(名古屋市中企業振興会館)
主 催	国土交通省中部地方整備局、名古屋国際見本市委員会
共 催	(一社)中部地域づくり協会、(公社)土木学会中部支部
後 援	農林水産省東海農政局、経済産業省中部経済産業局、 長野県、岐阜県、静岡県、三重県 他
来 場 者	約15,000名(研究所展示ブース見学者 約240名)
実施内容	防災啓発活動 ① 映像上映 「自然に学び、自然に備える」 「未来に向けて」(製作・著作:一般社団法人東北地域づくり協会) ② パネル展示 ・地震:濃尾地震、昭和東南海地震、三河地震など ・風水害:狩野川台風、伊勢湾台風 ③ 液状化現象試験装置の実演 ④ 啓発資料 「近年の豪雨災害記録集2016」
実施効果	建設技術フェアは、当研究所の継続的な活動として平成22年より参加しており、今回で8回目の出展となりました。出展テーマを「大規模災害に学ぶ地域防災力の強化」と題し、継がれる先人たちの知恵と教訓をとりあげ、自然災害に対する備えの重要性を分かり易く、パネル展示や映像の上映等を実施しました。体験型の液状化実験には学生の方を中心に関心の目を引き、液状化対策等の問い合わせもありました。

実 施 状 況

